

## 企業様向けオンライン講座③

実務に役立つデータサイエンス講座  
データ活用人材育成研修

## 講座のテーマ・特徴

1. 事業会社で「データを分析」を進めるにあたって、求められるスキルセットや考え方を学べる講座です。
2. データ分析そのものではなく、業務でデータを活用する人材に求められるスキルや考え方(思考回路)の紹介を重視しています。
3. 企業でのデータ活用に経験豊富なデータサイエンティストやコンサルタントが講師を務めます。

## 授業内容のポイント

- 「データ活用するためのスキルセット」が本講座の狙いではありますが、データ分析に全く土地勘がないとその活用方法や分析上の問題点を考えることもできません。
- この講座では、基本的な分析に関するコンテンツを半分、分析結果の活用や問題点の整理に関するコンテンツを半分と、バランスよく実施することを想定しています。

## 授業スタイルのポイント

- 講座後の課題だけでなく、講座内での「ミニ演習」を充実させる想定です。各講座内で15分程度の演習時間を設けて、その日のテーマに関して、その場で考えて頂きます。他の参加者の思考や回答を聞くことが、あなたの刺激になることが狙いです。
- 全10回のカリキュラムを概ね確定していますが、参加者の皆さんの興味関心や講座の進み具合に合わせて、順序や内容を柔軟に変えていくことを想定しています。ですが、「分析そのものではなく、分析の活用にフォーカスする」という方針は変わりません。

## お申し込みにあたって

**申込方法** 以下URLもしくは右側のQRコードからお申込みください。  
※お申し込みの際、簡単なアンケートにお答えください。  
<https://forms.office.com/r/SgvdurG4ZJ>

**実施時期** 2024年8月～2025年2月(講座10回+チューターMTG(予定))

**定員** 40名(先着順) ※**申込期限 2024年8月20日(火)**

**講座形式** ZOOMによるオンライン講座

1. やむを得ず参加できなかった講座については、受講者に限り後日録画内容を閲覧できます。
2. オンライン上での議論を促進するために、miro(ホワイトボードツール)を利用します。  
(主催者側でアカウントを払い出すため、個人での登録等は不要です)
3. 講座や課題の際Google Colaboratoryを利用する場合があります。  
あらかじめ、個人のgoogleアカウントをご準備ください。

**応募条件** 自分自身の分析・統計・機械学習知識やプログラミング経験は必ずしも問いません。データを活用した課題の深堀や論点整理、分析方針の検討などの講座内演習では、Excelを使用した様々なデータ集計を行います。基本的な関数やピボットテーブルなどの操作に自信がない方は、本講座と並行して自習していただく必要があります。(簡単な操作で十分です)



## 想定カリキュラム ※講座の順序や内容が多少変更する可能性があります

1	24年8月27日(火) 16:30-18:00	<b>データ分析が成り立つための体制やスキルセット</b> 実務におけるデータ活用をにおいて、求められるスキルセットにはどのようなものがあるのでしょうか？その中で、大事なものは何でしょうか？組織としてのデータ活用が成り立つために必要なスキルと役割について説明します。
2	24年9月10日(火) 16:30-18:00	<b>データ分析で求められる仮説思考</b> 分析作業とは目的と手段が逆転しがちなものです。やるべき問題とタスクを整理し、ゴールに向かっていくことを確認しながら進めることの重要性を紹介します。データサイエンティストには、好きなことだけしがちな人が多いのです。
3	24年9月24日(火) 16:30-18:00	<b>「目的変数(Y)」を定めたデータ分析の重要性</b> データ分析には探索的な側面もあり、様々な試行錯誤が重要であることは言うまでもありません。ですが、目的変数を意識しない分析は、得てして迷走しがちであり、試行錯誤にすらならないのが一般的です。
4	24年10月8日(火) 16:30-18:00	<b>もっとも大事なスキル「分析設計」</b> 一人前のデータサイエンティストとは「分析設計」ができる人であり、分析作業が得意な人ではありません。裏返すと、信用されるデータサイエンティストになるためには、「分析設計」ができることが必須です。
5	24年10月22日(火) 16:30-18:00	総合的な知識と経験をもって「分析を建てつける/機能させる」こと、つまり分析設計の具体例とその重要性について説明します。 目的志向、仮説思考の重要性がここでも登場します。
6	24年11月19日(火) 16:30-18:00	<b>業務で役立つデータ分析手法の紹介（Excelを想定）</b> 平均、標準偏差、相関係数、クロス集計、ピボットテーブル活用、グラフの見せ方、データの見せ方などExcelでできる分析手法について紹介します。最低限使いこなせるべきレベルを提示します。
7	24年12月17日(火) 16:30-18:00	<b>もっとも時間がかかるデータ収集や加工</b> データの特徴とデータ量を把握した上で、分析に適したデータセット、後でやり直しが少ないデータセット、他の分析にも使いやすいデータセットの重要性を紹介します。分析タスク全体の時間に大きく影響します。こまめなセーブが重要です。
8	25年1月21日(火) 16:30-18:00	<b>データ分析が活きるチーム体制と役割分担</b> 分析結果の活用はチームワークです。そして、関係者への根回しはもっと重要です。誰も傷つけないアウトプット、話を聞いてもらいやすい文脈の重要性、とても大事な“分析の後/分析の周辺”に関するポイントを紹介します。
9	25年2月4日(火) 16:30-18:00	<b>示唆出し、分析結果の伝え方、報告時の注意点など</b> 集計/分析作業が終わっただけでは、ただの数字の出力にすぎません。その数字に意味を持たせ、興味を惹き付け、正しく関係者に理解してもらうためのポイントについて紹介します。説得力のある見せ方、とも言えます。
10	25年2月18日(火) 16:30-18:00	<b>分析結果の業務活用、社内への定着化、施策へのつなげ方</b> 分析作業ができるだけではデータ活用人材とは言えません。データ活用を業務につなげ、結果を出し、社内に定着化させるまでがゴール(遠足)であることをしっかりと説明します。ここを間違えている人が多いです。

### 【お問い合わせ先】

広島大学 AI・データイノベーション教育研究センター  
〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目1番89号  
東千田未来創生センター4Fプロジェクトルーム4-6  
E-mail: [aidi-event@ml.hiroshima-u.ac.jp](mailto:aidi-event@ml.hiroshima-u.ac.jp)